

2018 年度 韓国コース派遣留学報告書

留学先：慶熙大学

留学期間：8 月 31 日(土)～12 月 26 日(木)

新潟国際情報大学
国際文化学科
学籍番号：21018009
石本純也

目次

1 留学先および留学期間.....	3
2 留学先概要.....	3
3 留学目的.....	3
4 留学のスケジュールと詳細.....	4
4-1 研修のスケジュール.....	4
4-2 研修の詳細.....	10
5 当初の目的への到達度に対する自己評価、留学で得たこと.....	11
反省・課題.....	12
謝辞.....	12

付録

留学記録.....	12
-----------	----

1 留学先及び留学期間

留学先 韓国 キョンヒ大学

留学期間 8/31～12/26

2 留学先概要

大学について

キョンヒ大学は回基駅の近くに位置し広大な敷地と様々な学部が存在し、1949年に創立された。1996年には韓国語教育プログラムを開始し、毎年約30か国700人以上の留学生在が韓国語を学習している。また、キャンパスはソウルのほかにカアンヌンとスウォンにも設置されている。

大学で行われている教育について

授業は韓国語の習得レベルに応じて初級、中級、上級に分けられる。クラスは15人から20人の少人数制になっており、各クラス二人の先生が担当してくれる。クラスでは様々な国の学生とともに授業を受けるので、より国際的理解が深まったと感じた。授業の内容は主に文法、リーディング、リスニング、ライティング、スピーキングなどを学習した。また学習の一環として各学生に一人ずつ現地の学生が韓国での生活や学習をサポートしてくれる「トウミ制度」なども存在し、非常に語学力の上達に役立った。

3 留学目的

留学の目的は韓国語の上達と韓国文化に触れること、またテレビで報道されている日本と韓国の関係を実際に現地に行き感じてみることだ。韓国語の上達は日本で勉強するよりも実際に現地に行き、普段の生活でも韓国語に触れることで語学力が向上するのではないかと考えたからである。文化については韓国の食や暮らしなどを知ることによって日本との差異を知り、様々なものの見方ができるようになるのではないかと考えたためである。また韓国と日本の関係については本当にテレビで報道されているようなものなのか疑問に思い、実際に自分の目で見て確かめてみたいと考えたからである。以上が留学の目的である。

4 留学のスケジュールと研修の詳細

4-1 留学のスケジュール

留学中のスケジュールは以下のとおりである。

月	日（曜日）	午前	午後
8	31（土）		到着、入寮
9	1（日）		
	2（月）	オリエンテーションクラス分けテスト	
	3（火）	韓国語（初級1）	韓国事情（特講）
	4（水）	韓国語	セミナー
	5（木）	現地学習（ロッテワールド）	
	6（金）	韓国語	
	7（土）		
	8（日）		
	9（月）	韓国語	映像韓国語
	10（火）	韓国語	セミナー
	11（水）	韓国語	韓国事情（特講）
	12（木）	秋夕（チュソク）休み	
	13（金）		
	14（土）		
15（日）			

	16 (月)	韓国語	映像韓国語
	17 (火)	韓国語	セミナー
	18 (水)	韓国語	韓国事情 (特講)
	19 (木)	現地学習 (N ソウルタワー、国立中央博物館)	
	20 (金)	韓国語	
	21 (土)		
	22 (日)		
	23 (月)	韓国語	映像韓国語
	24 (火)	韓国語	ハングル博物館
	25 (水)	韓国語	セミナー
	26 (木)	韓国語	韓国語
	27 (金)	韓国語	
	28 (土)		
	29 (日)		
	30 (月)	オリエンテーション	
10	1 (火)	クラス発表、オリエンテーション	外国人登録証手続き
	2 (水)	韓国語	国際教育音の院長先生 との懇談会

3 (木)	祝日	
4 (金)	韓国語	
5 (土)		
6 (日)		
7 (月)	韓国語	映像韓国語
8 (火)	韓国語	セミナー
9 (水)	祝日	
10 (木)	韓国語	韓国の歌
11 (金)	韓国語	
12 (土)		
13 (日)		
14 (月)	韓国語	映像韓国語
15 (火)	韓国語	セミナー
16 (水)	韓国語	韓国事情 (特講)
17 (木)	韓国語	韓国の歌
18 (金)	韓国語	
19 (土)		
20 (日)		

	2 1 (月)	韓国語	映像韓国語
	2 2 (火)	韓国語	セミナー
	2 3 (水)	韓国語	韓国事情 (特講)
	2 4 (木)	韓国語	韓国の歌
	2 5 (金)	韓国語	
	2 6 (土)		
	2 7 (日)		
	2 8 (月)	韓国語	映像韓国語
	2 9 (火)	韓国語	セミナー
	3 0 (水)	韓国語	韓国事情 (特講)
	3 1 (木)	韓国語	韓国の歌
11	1 (金)	韓国語	
	2 (土)		
	3 (日)		
	4 (月)	韓国語	映像韓国語
	5 (火)	韓国語、中間試験	
	6 (水)	中間試験	
	7 (木)	韓国語	韓国の歌

8 (金)	韓国語	
9 (土)		
10 (日)		
11 (月)	現地学習 (南怡島)	
12 (火)	韓国語	セミナー
13 (水)	韓国語	韓国事情 (特講)
14 (木)	韓国語	韓国の詩
15 (金)	韓国語	
16 (土)		
17 (日)		
18 (月)	韓国語	映像韓国語
19 (火)	韓国語	セミナー
20 (水)	韓国語	韓国事情 (特講)
21 (木)	韓国語	韓国の詩
22 (金)	韓国語	
23 (土)		
24 (日)		
25 (月)	韓国語	映像韓国語

	26 (火)	韓国語	セミナー
	27 (水)	韓国語	韓国事情 (特講)
	28 (木)	韓国語	韓国の詩
	29 (金)	韓国語	
	30 (土)		
12	1 (日)		
	2 (月)	韓国語	映像韓国語
	3 (火)	韓国語	セミナー
	4 (水)	韓国語	
	5 (木)	期末試験	
	6 (金)	期末試験	
	7 (土)		
	8 (日)		
	9 (月)	韓国語	
	10 (火)	韓国語	
	11 (水)	修了式	韓国事情 (特講)
	12 (木)	TOPIK 対策講義	
13 (金)	TOPIK 対策講義		

14 (土)		
15 (日)		
16 (月)	TOPIK 対策講義	
17 (火)	TOPIK 対策講義	
18 (水)	TOPIK 対策講義	韓国事情 (特講)
19 (木)	修了式 (nuis 学生)	
20 (金)	自由研修	
21 (土)		
22 (日)		
23 (月)		
24 (火)		
25 (水)		
26 (木)		

4-2 研修の詳細

- ・初級1

主に日本人の学生とともに文法、リスニング、スピーキングなどを学ぶ。

- ・初級2

主に外国人の学生とともに文法、リスニング、スピーキングなどを学ぶ。

担当の先生が各クラスに二人つく。

- ・映像韓国語

主に韓国ドラマをみたり自分たちで台本を作ってドラマをとったりする。

- ・韓国事情（特講）

楽器やテコンドーなどを通して韓国の文化に触れる授業。この授業を通して韓国の様々な文化に触れることができた。

- ・セミナー

班でテーマを決め、日韓の関係や文化の違いなどについて協力して調べて発表などをする授業。この授業を通じて知らなかった日本と韓国の文化の違いや関係などについて詳しく知ることができた。

- ・韓国の歌

韓国の K-POP などの歌の歌詞などを通して韓国語について学ぶ授業。韓国語だけでなく。韓国の様々な歌を知ることができた。

- ・現地学習

現地学習では韓国の様々なところに行き（N ソウルタワーやロッテワールド、南怡島等）韓国ならではの雰囲気などを楽しんだ

- ・中間考査、期末考査

主に文法、リーディング、ライティング、スピーキン、グリスニング の五つのテストを行う。特にスピーキングでは先生との対話形式のテストと二人ペアで会話文を作り発表する形式の二つの形式でテストした。

- ・ハングル大会

ハングル大会ではハングル文字の奇麗さを競う大会。参加した入賞者には賞状や記念品等が配られていた。

5 当初の目的及び目標への到達度に対する自己評価、今回の留学によって得られたこと
当初の目的である語学力の向上韓国の文化に触れることについては、おおむね達成できたと感じる。また、気になっていた日韓の関係や韓国人の日本人に対する意識などについても今回の留学を通じて直に感じる事ができた。今回の留学によって得たことは日本ではあまり経験することのない、韓国人だけではない様々な国の人との交流などを通じて国際的な意識が深まったと感じる。

反省課題

今回の留学で普段の生活の中で分からない単語があったり、相手の話を聞き取れなかったりしたときにジェスチャーなどを多用してしまい、韓国語をより習得する機会を逃してしまっていたと感じた。また、トウミとのコミュニケーションがうまく取れず、留学後半では疎遠になってしまったことが反省である。課題としては今後韓国語の学習により力を入れ、自分から積極的に海外の人と関わるなどして韓国語を使う機会を意識して増やしていきたい。

謝辞

今回の留学に際して私たちの留学生生活を支えてくださった慶熙大学の教授の皆様、また私たちの留学にかかわってくださった多くの皆様に感謝申し上げます。また、留学のサポートをくださったシン・ウンジュ先生、吉澤文寿先生誠にありがとうございました。そして、最後に本学からいただいた奨学金のおかげで留学という人生であまり経験することのない貴重な経験をさせていただきました。この経験を活かしより一層頑張りたいと思います。

付録

トウミについて

韓国では各学生に一人トウミという韓国での生活をサポートしてくれる現地の学生がついてくれる。基本はトウミと会うときはそれぞれ日本人と韓国人のペアの4人で会うことが多いが、私は基本自分のペアのトウミと2人で会ってご飯に行ったり遊んだりすることが多かった。また、トウミには日本語をしゃべれる人としゃべれない人がいるが、私のトウミは比較的日本語をしゃべれる方だった。なので私は普段の会話では韓国語を使うようお願いし、その結果会話する能力が身についたと思う。しかし、日本語がしゃべれるといっても私たちの韓国語の能力と同じくらいだったため、日本語がペラペラだという人はあまりいないと思う。

生活について

私たちはキョンヒ大学とその最寄り駅であるフェギ駅のちょうど中間くらいにあるリーダーベリーという寄宿舎で生活していた。生活に必要なものはほとんどがフェギ駅付近にあるダイソーやスーパーなどでそろい、交通の便なども地下鉄を使えば大体のところには行けるため、生活で不便なことはないと思われる。また、地下鉄の乗り換えなどは subway というアプリを見れば一目でわかるので入れておくことをお勧めする。



